



厚別区シンボルマーク

広報

# あつぎべっ

## 2010年1月号

|        |              |         |
|--------|--------------|---------|
|        | 12月1日現在      | ( )は前月比 |
| 厚別区の人口 | 129,006人     | (-36)   |
| 人口・世帯数 | 男 59,554人    | (-31)   |
|        | 女 69,452人    | (-5)    |
|        | 世帯数 55,113世帯 | (+40)   |

厚別区総務企画課広聴係  
 〒004-8612  
 厚別区厚別中央1条5丁目  
 TEL 895-2400 内線224~226  
 FAX 895-2403

### 厚別区民のページ



## 伝えたい和のこころ



## 厚別人

書／映画監督 菅原浩志

厚別西小学校では、昭和六十一年の開校時に設立された邦楽サークル「箏曲合奏団」のメンバーが、毎朝授業開始前の約二十分、琴の練習に打ち込んでいます。そこで十五年間、ボランティアで指導に当たっているのが橋本直美さんです。

「幼いころ、お正月に母親のお琴を家族で弾いて楽しみました。本格的に習い始めたのは、母が亡くなった二十代から」と、琴を始めたきっかけを語ります。

### 子どもに伝えたいこと

橋本さんは、同小の開校時教鞭を執っていました。琴に詳しいことを知った同僚が校長に掛け合い、箏曲合奏団が設立されました。違う小学校に異動して一度は指導する

立場から離れたが、後任が幼い子どもの指導に苦勞しているという話を聞き、定年退職後に指導者としての復帰を決めました。

橋本さんは、「子どもたちには、ただお琴を弾くだけではなく、『礼に始まり、礼に終わる』という日本古来から受け継がれた素晴らしいこの文化を学んでもらいたい」という思いから、あいさつの大切さ、そして心を込めた演奏を教えています。

### 引き継がれるこころ

「十五年も続けてこられたのは、子どもたちのおかげ。日々成長する姿を間近で見ていると、ひたむきに打ち込むことの大切さを教えられて、とてもやりがいがありました」と目を細め、子どもたち

を見つめる橋本さんですが、自宅との自動車での往復が負担となり、現在のメンバーが卒業する来年度で団の指導を退きます。「あと一年余、音楽を楽しむことや礼儀正しく学ぶ姿勢を子どもたちに伝えていきたい」と語る橋本さん。和のこころは、教え子たちへ引き継がれていきます。

### 生田流正派邦楽会大師範 橋本 直美

#### Profile (プロフィール)

はしもと・なおみ  
 元小学校の教員。定年退職後、ボランティアで厚別西小学校箏曲合奏団の指導に当たるほか、お琴教室を営む。北広島市在住、74歳。

※箏曲：琴を使った音楽のこと